

89th Interim **Business Report**

第89期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

Powering Passion

その情熱を力に。



“Powering Passion” 『その情熱を力に。』



ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。第89期第2四半期連結累計期間の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

今年度から新たに「中期経営計画2025」を策定し、“Powering Passion”『その情熱を力に。』をスローガンに「グローバル事業領域の拡大」をはじめ5つの最重要課題を掲げております。全社員が情熱を持ち、目標達成を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

株主の皆様のご期待に沿うべく努力をいたす所存でございますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 彦坂典男

当第2四半期連結累計期間における受注はどのような状況でしたか。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では良好な雇用情勢を背景に個人消費が堅調に推移しました。欧州では金融引き締めの影響による影響が依然として強く、景気は足踏み状態が続きました。中国では不動産市場低迷等の影響から景気の回復は力強さを欠く状況が続きました。

わが国経済については、堅調な個人消費やインバウンド需要の回復が持続し、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、円安の長期化やエネルギー価格・原材料価格の高止まりなど、引き続き景気の先行きを注視していく必要があります。

このような中で、当社グループは当第2四半期連結累計期間において、海外プラント向けで2件、合わせて30億円を超える大型案件の受注があったほか、国内では官需を中心に16億円の大型案件や3億円以上の案件8件を受注しました。

その結果、当社グループの受注額は前年同期比175.5%の169億74百万円と大幅に増加しました。

業績はいかがでしたか。

売上高については、86億27百万円（前年同期売上高87億73百万円）となりました。また、利益については、営業利益は39百万円（前年同期営業利益81百万円）、経常利益は1億50百万円（前年同期経常利益1億55百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億26百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益1億17百万円）となりました。

当社グループの売上高は、公共事業物件の割合が高いため連結会計年度末に集中する傾向があり、四半期別の業績には季節の変動があります。

通期の業績については、売上高235億円、営業利益23億70百万円、経常利益25億円、親会社株主に帰属する当期純利益18億円を見込んでいます。

また当社グループは、従来から安定的な経営成績の確保と経営基盤の維持増強に努めています。株主の皆様へ安定的な配当をすることを基本に、当社グループで持つ経営資源を効果的に活用することとしております。これにより、一層収益力の向上と経営基盤の安定・強化並びに配当性向の向上に努めております。この方針を踏まえ、今年度の中間配当につきましては、1株につき52円50銭とさせていただきます。

今後の取り組みについてはどのようなものを考えていますか。

受注が好調な官需部門と海外部門において、これまで継続してきた大型案件をターゲットとした受注活動

を一層強化し、通期260億円の受注を目指して取り組んでまいります。

また、今年度より取り組みを開始した「中期経営計画2025」では新たなスローガン“Powering Passion”『その情熱を力に。』のもと、次の5テーマを最重要課題として掲げています。

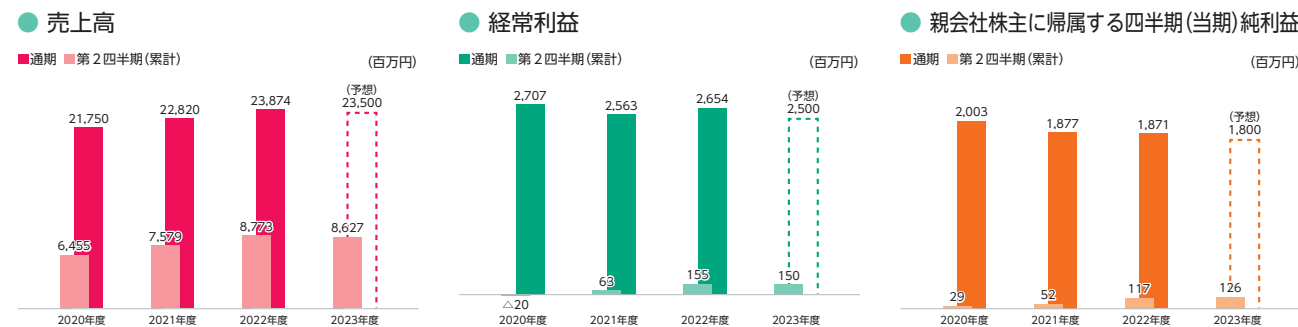
1. グローバル事業領域の拡大
2. グローバル市場に対応する生産効率の追求
3. コア事業の安定収益体制化
4. 人的資本経営の実践
5. 持続可能な社会との共存共栄

これらの課題に対し、全社員が情熱を持ち、お客様をはじめ全てのステークホルダーに誠心誠意向き合って、サステナブルでグローバルな企業となるための、事業基盤の再構築に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

連結財務ハイライト



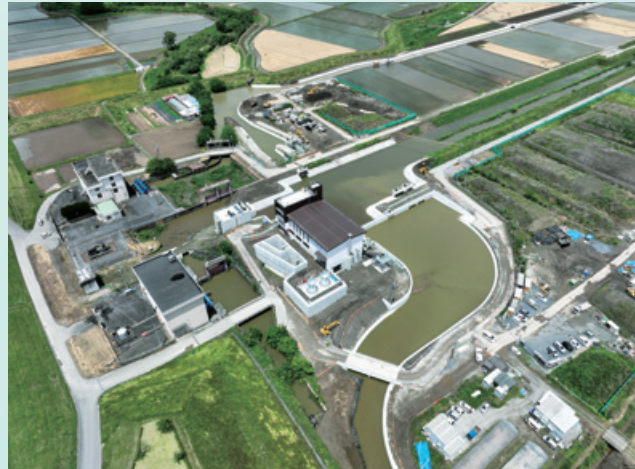
※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2021年度の期首から適用しており、2021年度以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した数値となっております。

与良川統合排水機場ポンプ設備工事の完了

当社は2023年9月29日に、農林水産省関東農政局与良川統合排水機場向け立軸ポンプ4台(口径1,650mm/出力745kW/2台、口径1,500mm/出力458kW/2台)の製作据付工事を完了しました。今から約40~50年前に、栃木県南部に広がる水田や畑地の湛水被害を軽減するために2つの排水機場が設置されましたが、その後の降雨形態の変化や経年的な施設の劣化に伴い、今回新たに排水機能を高めた統合機場として計画されたものです。

今回はポンプ設備だけでなく、ポンプを操作制御する電気設備や機場用の監視カメラも併せて納入しました。

この機場は1秒間で最大25.72トンもの排水能力をもっており、今後当社のポンプ設備が豪雨や台風による湛水被害から農地を守り、農業生産性の維持向上及び農業経営の安定に寄与することが期待されております。



与良川統合排水機場全景



与良川統合排水機場内ポンプ駆動機室

DMWインド社第3期工場拡張工事完了

当社子会社であるDMWインド社のプネ工場では、2022年7月より開始した第3期工場拡張工事が2023年7月に完了しました。完工を記念して現地でセレモニーを開催し、従業員だけでなく、多くの関係者の皆様にもご参加いただき、新たな門出を祝いました。

本工事は、「Make in India」を掲げて国内生産を推進するインド政府の方針に対応すべく大型多段高圧ポンプの運転設備・倉庫等を設置し、インドにて同種ポンプの一貫生産が行える体制を整備したものです。

既に拡張エリアを活用し、9月には3,900kW多段高圧ポンプの製造・試運転を行い、出荷するに至りました。

第3期工場拡張工事まで設備が完成したことにより、インドでの今後の受注拡大が望めるとともに、現地生産によるコスト競争力を有効に利用して、インドのみならず中東やアフリカ市場等への輸出も視野に入れて取り組んでまいります。



DMWインド社プネ工場 全景



セレモニーの様子



大型多段高圧ポンプ

サステナビリティレポート2023を発行

当社は、従来発行していた「環境報告書 with SDGs」の内容を充実させた「サステナビリティレポート2023」を発行しました。

本レポートでは、持続的な企業価値向上を目指すためのマテリアリティ(重要課題)、その解決に向けた取り組み内容及びKPI(数値目標)についてまとめ、紹介しています。

今後も、「水と空気を通じて豊かな未来社会を創造する」という当社パーパスのもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、積極的な情報開示によりステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを強化してまいります。マテリアリティ及び解決に向けた当社の取り組みについては以下の通りです。



マテリアリティ	解決に向けた当社の取り組み	
事業活動に伴う環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 再エネの積極的な利用 ● 工場の環境負荷軽減設備の導入促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ・廃棄物排出量の削減 ● 揮発性有機化合物の代替化合物の利用
ものづくりを通じた顧客課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー高効率製品の開発 ● 顧客満足度を高める施策 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高付加価値製品の開発 ● メンテナンス体制の構築・強化
事業領域の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● 海水淡水化事業の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● クリーンテック関連事業の検討
人的資本の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイバーシティ経営の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康経営の実践
ガバナンス体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● コーポレートガバナンスの強化 ● リスク・コンプライアンス委員会を通じたリスク低減施策の推進 ● 関連研修等の教育の強化・徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ● サステナビリティ調達体制の構築・実践

詳細はこちらからご確認ください。



<https://www.dmw.co.jp/csr/sustainability-report.html>

工事現場の現場事務所における再生可能エネルギー由来の電力活用

当社では、SDGsの取り組みとして、昨年度より工事現場の仮設現場事務所の電力を再生可能エネルギー由来に転換し、CO₂排出量削減に取り組んでいます。

太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスなど、発電の際にCO₂を排出しない電力を使用することにより、環境負荷の低減を目指しています。また、地元の再生可能エネルギーの発電所から電気を調達することにより、地域貢献にも取り組みました。再生可能エネルギーに切り替えた工事現場にはポスターを掲示し、地域住民や発注者へPRしております。この取り組みにより、昨年度からこれまでにCO₂排出量33トンの削減を実現しました。

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの転換だけに留まらず、CO₂排出量削減のための施策に継続して取り組んでまいります。



地域環境美化活動

当社では、地域社会の一員として、行政や地域が行う清掃活動に積極的に参加しています。

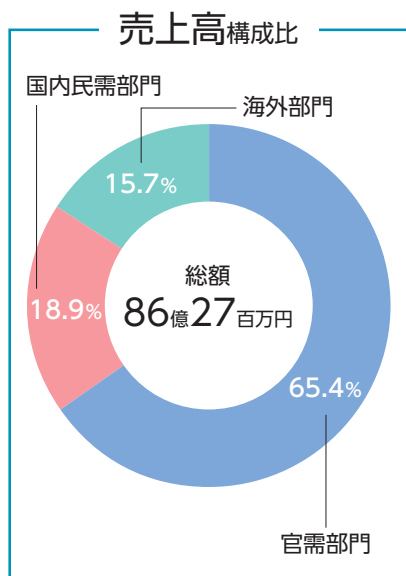
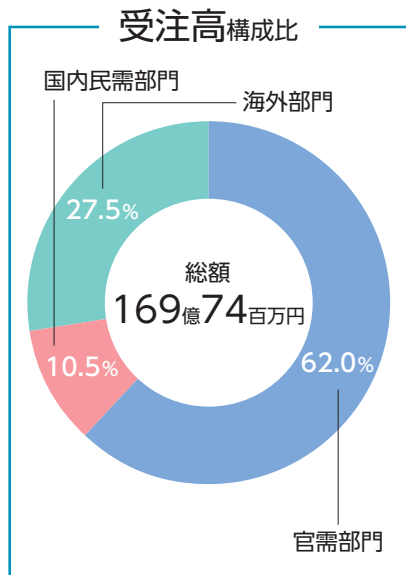
三島事業所では、三島地区環境保全推進協議会が年に2回主催する三島市立公園「楽寿園」の環境整備・清掃奉仕活動に参加しています。2023年10月14日に行われた活動では、従業員及びその家族67名が参加し、園内のごみ拾いや除草活動を行いました。

また、本社では、最寄り駅であるJR大森駅周辺の歩道の清掃活動を毎月実施しており、地域の環境美化に努めています。

今後も、地域社会とのコミュニケーションを通じ、良き企業市民として地域に貢献できるように、積極的に取り組んでまいります。



清掃活動の様子



官需部門

受注高 **105億31百万円**
(前年同期比155%)

売上高 **56億40百万円**
(前年同期比93%)

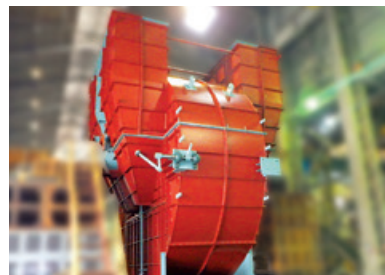


●排水機場向けポンプ

国内民需部門

受注高 **17億82百万円**
(前年同期比96%)

売上高 **16億32百万円**
(前年同期比105%)



●発電所向け送風機

海外部門

受注高 **46億61百万円**
(前年同期比515%)

売上高 **13億54百万円**
(前年同期比120%)



●ガспラント向け送風機

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2023年9月30日現在	前期末 2023年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	22,190	26,528
固定資産	8,045	7,486
有形固定資産	4,522	4,318
無形固定資産	329	339
投資その他の資産	3,192	2,827
資産合計	30,235	34,014
(負債の部)		
流動負債	5,629	9,903
固定負債	299	192
負債合計	5,929	10,096
(純資産の部)		
株主資本	23,165	23,335
資本金	810	810
資本剰余金	123	119
利益剰余金	23,245	23,425
自己株式	△1,013	△1,018
その他の包括利益累計額	1,141	582
純資産合計	24,306	23,917
負債純資産合計	30,235	34,014

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

電業社機械製作所

検索

詳細な情報につきましてはホームページをご覧ください。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
売上高	8,627	8,773
売上原価	6,887	7,069
売上総利益	1,740	1,704
販売費及び一般管理費	1,700	1,622
営業利益	39	81
営業外収益	136	112
営業外費用	25	38
経常利益	150	155
特別利益	77	46
特別損失	18	-
税金等調整前 四半期純利益	209	201
法人税等	82	84
四半期純利益	126	117
親会社株主に帰属する 四半期純利益	126	117

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,730	3,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	140	△761
財務活動によるキャッシュ・フロー	△316	△301
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	11
現金及び現金同等物の増減額	3,568	2,184
現金及び現金同等物の期首残高	6,036	5,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,604	8,070

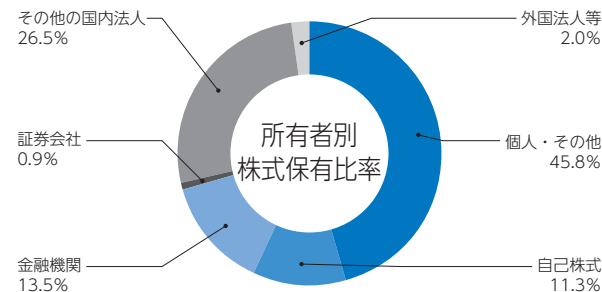
(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2023年9月30日現在)

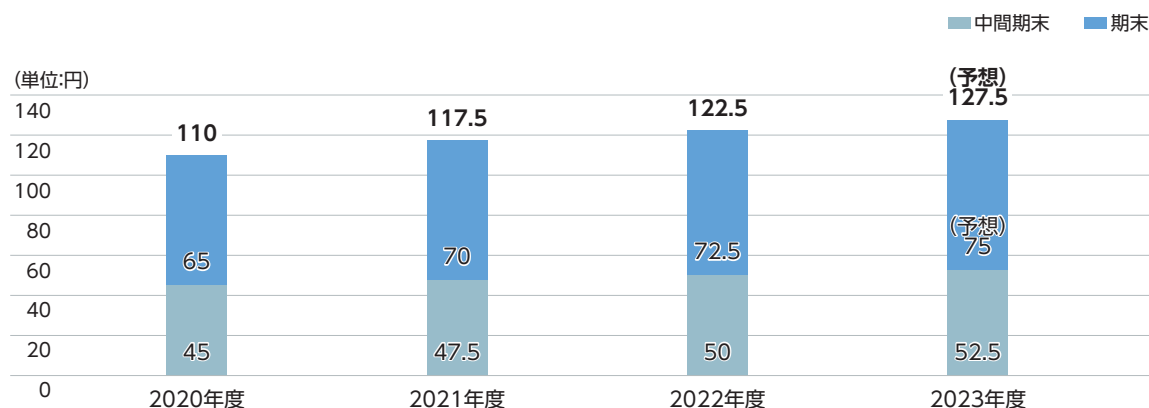
株式の状況

■発行可能株式総数	19,107,600株
■発行済株式の総数	4,776,900株
■株主数	3,277名

株主構成



1株当たり配当金



(注) 2020年度中間期末配当金の内訳 普通配当42円50銭、創立65周年記念配当2円50銭

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社GM INVESTMENTS	506	11.96
電業社取引先持株会	239	5.64
明治安田生命保険相互会社	175	4.15
光通信株式会社	148	3.49
株式会社明電舎	127	3.01
一般財団法人生産技術研究奨励会	120	2.83
三井住友海上火災保険株式会社	113	2.67
株式会社三菱UFJ銀行	104	2.47
水道機工株式会社	70	1.67
株式会社鶴見製作所	65	1.54

(注) 1. 当社は、自己株式 (538千株) を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

会社の概況 (2023年9月30日現在)

会社概要

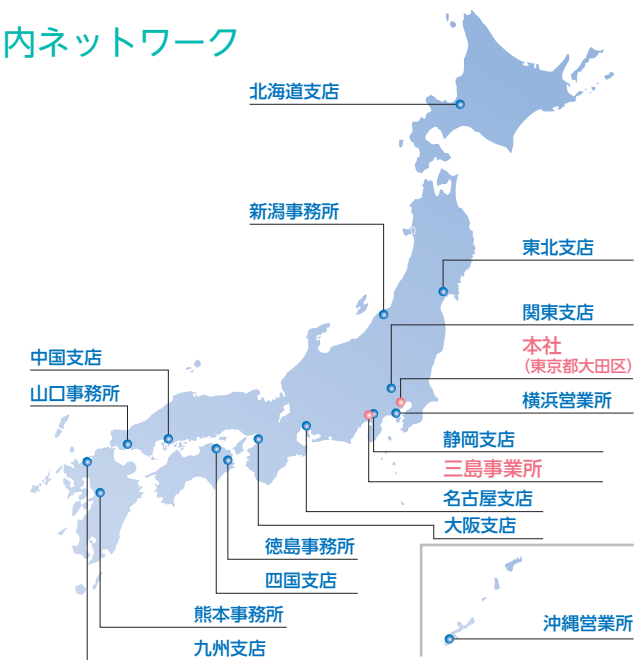
■商号	株式会社 電業社機械製作所 (DMW CORPORATION)
■所在地	東京都大田区大森北一丁目5番1号 〒143-8558 TEL 03(3298)5115
■資本金	810,000千円
■グループ従業員数	646名 (うち契約社員68名、パートタイマー34名)

取締役及び執行役員

代表取締役会長	村林秀晃
代表取締役社長 最高執行役員社長	彦坂典男
取締役役員 常務執行役員	稲垣晃
取締役役員 常務執行役員	青山匡志
社外取締役	上地崇夫
社外取締役	杉井守
取締役 (常勤監査等委員)	山岸嗣宏
社外取締役 (監査等委員)	多田修
社外取締役 (監査等委員)	山本英男
上席執行役員	原広志
執行役員	石澤勇人
執行役員	長尾裕治
執行役員	茶原邦之
執行役員	笹川博

ネットワーク

国内ネットワーク



国内子会社

- ・電業社工事株式会社 (本社：静岡県三島市)
- ・株式会社エコアドバンス (本社：静岡県三島市)

海外ネットワーク

海外拠点

- ・中東支店 (アラブ首長国連邦 ドバイ首長国)
- ・シンガポール支店
- ・大連事務所 (中国)
- ・米国拠点 (ヒューストン)

海外子会社

- ・DMWインド社 (本社：ムンバイ/工場：プネ)

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
- 上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
- 公告の方法 電子公告により当社WEBサイトに掲載
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(各種手続き先)

1. 株式に関する各種手続き(住所・氏名の変更、配当金振込口座の指定・変更、単元未満株式の買取請求等)につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
2. 株券電子化に伴う証券会社等の口座への振替手続きがお済みでない株式(特別口座に記録された株式)に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 銀行取扱い期間終了後の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 株式会社 **電業社機械製作所**

〒143-8558 東京都大田区大森北一丁目5番1号
TEL(03)3298-5115(代表)

ホームページのご案内

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

当社ホームページ <https://www.dmw.co.jp/>



▲TOPページ

- 富士山ライブカメラの映像を掲載しています。
富士山のリアルタイムの映像をお楽しみいただけます。



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物インキを使用しています。